

# 放射線災害医療学分野

## 論文

### A 欧文

A-a

- 1 . Bogdanova T, Rogounovitch TI, Zurnadzhy L, Mitsutake N, Tronko M, Ito M, Bolgov M, Chernyshov S, Gulevatyi S, Masiuk S, Yamashita S, Saenko VA: Characteristics and immune checkpoint status of radioiodine-refractory recurrent papillary thyroid carcinomas from Ukrainian Chornobyl Tissue Bank donors. *Front Endocrinol (Lausanne)* 14: 1343848,2024. doi: 10.3389/fendo.2023.1343848.
- 2 . Ozaki K, Kato R, Yasuhara T, Uchihara Y, Hirakawa M, Abe Y, Shibata H, Kawabata-Iwakawa R, Shakayeva A, Kot P, Miyagawa K, Suzuki K, Matsuda N, Shibata A, Yamauchi M: Involvement of the splicing factor SART1 in the BRCA1-dependent homologous recombination repair of DNA double-strand breaks. *Sci Rep* 14(1): 18455,2024. doi: 10.1038/s41598-024-68926-2.
- 3 . Mohamed YH, Uematsu M, Kusano M, Inoue D, Tang D, Suzuki K, Kitaoka T: A Novel Technique for Corneal Transepithelial Electrical Resistance Measurement in Mice. *Life (Basel)* 14(8): 1046,2024. doi: 10.3390/life14081046.
- 4 . Imaoka T, Tanaka S, Tomita M, Doi K, Sasatani M, Suzuki K, Yamada Y, Kakinuma S, Kai M: Human-mouse comparison of the multistage nature of radiation carcinogenesis in a mathematical model. *Int J Cancer* 155(6): 1101-1111,2024. doi: 10.1002/ijc.34987.
- 5 . Sako A, Matsuse M, Saenko V, Tanaka A, Otsubo R, Morita M, Kuba S, Nishihara E, Suzuki K, Ogi T, Kawakami: TERT promoter mutations increase tumor aggressiveness by altering TERT mRNA splicing in papillary thyroid carcinoma. *J Clin Endocrinol Metab* 109(10): e1827-e1838,2024. doi: 10.1210/clinem/dgae220.
- 6 . Yamada Y, Imaoka T, Iwasaki T, Kobayashi J, Misumi M, Sakai K, Sugihara T, Suzuki K, Tauchi H, Yasuda H, Yoshinaga S, Sasatani M, Tanaka S, Doi K, Tomita M, Iizuka D, Kakinuma S, Sasaki M, Kai M: Establishment and activity of the planning and acting network for low dose radiation research in Japan (PLANET). *J Radiat Res* 65(5): 561-574,2024. doi: 10.1093/jrr/rrae049.
- 7 . Nagata K, Nishimura M, Daino K, Nishimura Y, Hattori Y, Watanabe R, Iizuka D, Yokoya A, Suzuki K, Kakinuma S, Imaoka T: Luminal progenitor and mature cells are more susceptible than basal cells to radiation-induced DNA double-strand breaks in rat mammary tissue. *J Radiat Res* 65(5): 640-650,2024. doi: 10.1093/jrr/rrae067.
- 8 . Suzuki M, Isobe R, Sato T, Ishikawa R, Suzuki K, Kino Y, Miura T, Inaba Y, Chida K, Fukumoto M: Establishment of acquired radioresistant cells to fractionated radiation from hTERT-immortalized normal human epithelial cell. *Radiat Prot Dosimetry* 200(16-18): 1636-1640,2024. doi: 10.1093/rpd/ncae118.
- 9 . Taga M, Yoshida K, Yano S, Takahashi K, Kyoizumi S, Sasatani M, Suzuki K, Ogawa T, Kusunoki Y, Tsuruyama T: Hepatic Stellate Cell-mediated Increase in CCL5 Chemokine Expression after X-ray Irradiation Determined In Vitro and In Vivo. *Radiat Res* 202(6): 862-869,2024. doi: 10.1667/RADE-23-00127.1.

A-b

- 1 . Saenko V, Mitsutake N: Radiation-Related Thyroid Cancer. *Endocr Rev* 45(1): 1-29,2024. doi: 10.1210/endrev/bnad022.

### B 邦文

B-b

- 1 . 鈴木啓司 : 【放射線による組織反応研究のUpdate～細胞間コミュニケーションに着目して～】放射線による組織反応の惹起と時空間ダイナミクス. *放射線生物研究* 59(1): 2-57, 2024.
- 2 . 奥山紘平, 鈴木啓司 : クリニカルトピックス 抗体療法が頭頸部がん微小環境に及ぼす影響と治療戦略の提案. *BIO Clinica* 39(8): 685-690, 2024.
- 3 . 光武範吏 : 【内分泌疾患の温故知新-日本内分泌学会創設100周年を目前にして】甲状腺 ゲノムからみた甲状腺癌と分子標的薬. *医学のあゆみ* 290(9): 699-702, 2024.
- 4 . 廣瀬エリ, 横谷明徳, 野口実穂, Huart Lucie, 鈴木啓司 : ゲノムの構造と機能、およびエネルギー代謝に及ぼす放射線の長期影響. *放射線生物研究* 59(2): 134-156, 2024.
- 5 . 岩下恵子, 鈴木啓司, 小嶋光明 : 放射線による皮膚組織反応. *放射線生物研究* 59(3): 181-205, 2024.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	2	1	1	0	18

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
光武範吏・教授	編集委員	Endocrine Journal
光武範吏・教授	理事	日本甲状腺学会
光武範吏・教授	英文誌運営委員会委員	日本甲状腺学会
光武範吏・教授	会報編集委員会委員	日本甲状腺学会
光武範吏・教授	評議員	日本内分泌学会
光武範吏・教授	甲状腺癌集学的治療委員会委員	日本内分泌外科学会
光武範吏・教授	学術委員会、賞等選考委員会委員	日本放射線影響学会
光武範吏・教授	長崎西高等学校スーパーサイエンスハイスクール事業に係る運営指導委員	長崎県教育委員会
光武範吏・教授	運営部会委員	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会
光武範吏・教授	原子爆弾被爆者指定医療機関等医師研究会講師	長崎県庁
鈴木啓司・准教授	評議員	日本癌学会
鈴木啓司・准教授	福島県「放射線と健康」アドバイザリーグループアドバイザー	福島県保健福祉部
鈴木啓司・准教授	調査評価委員会委員	公益財団法人環境科学技術研究所
鈴木啓司・准教授	動物種・臓器別線量率効果検討ワーキンググループ委員委員	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門放射線医学研究所
鈴木啓司・准教授	「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（日本語版）」の改訂に関する検討委員会委員	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ 株式会社（環境省事業）
鈴木啓司・准教授	放射線生物影響研究動向調査委員会委員	日本エヌ・ユー・エス株式会社
鈴木啓司・准教授	運営委員会委員	京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物学研究センター
松瀬美智子・助教	J-WIT・女性支援委員会委員	日本甲状腺学会
松瀬美智子・助教	評議員	日本甲状腺学会
中山貴文・助教	グローバル化委員	日本放射線影響学会

## 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究強化(B) チェルノブイリ放射線誘発甲状腺がんの遺伝子バンク設立と分子遺伝疫学国際共同研究
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究(萌芽) 細胞腫によって放射線被ばく刻印は異なるのか？
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 甲状腺癌オルガノイドを用いた放射線ヨウ素治療抵抗性機序の解明
光武範吏・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究(萌芽) 放射線被ばくによるゲノム不安定性の解明

光武範吏・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 放射線誘発甲状腺癌の発症リスクを高める遺伝的素因はあるのか?
光武範吏・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 甲状腺濾胞性腫瘍の術前細胞診断を可能とする53BP1発現型の定量解析
光武範吏・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) 人はなぜ老い・病(やまい)になるのか—環境ストレス病態相関の理解
光武範吏・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	分担	難治性疾患実用化研究事業 ゲノム不安定性疾患群を中心とした超希少難治性疾患の原因究明・病態理解とマルチオミクス情報を活用した創薬基盤の構築・運営
光武範吏・教授	福島国際研究教育機構(F-REI)	分担	令和6年度「原子力災害からの復興に向けた課題の解決に資する施策立案研究」委託事業 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信(次世代甲状腺検査法および人材育成法の開発)
鈴木啓司・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) scRNA-Seq解析による放射線誘発ゲノム不安定性のトランスクリプトーム解析
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	放射線健康管理・健康不安対策事業 ゲノム変異シグネチャー解析で紐解く低線量放射線の発がん寄与割合とメカニズム
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	放射線健康管理・健康不安対策事業 メチル化シグネチャー解析による放射線の発がん寄与割合評価
鈴木啓司・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 環境因子に共通するゲノムストレスと炎症の臓器・オルガノイドイメージング
松瀬美智子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 甲状腺乳頭癌における放射性ヨウ素治療抵抗性メカニズムの解明
中山貴文・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 Senolytic drugを用いた新たな放射線発がん予防法の検討
中山貴文・助教	長崎大学原爆後障害医療研究所	分担	国際共同研究強化(B) Genome-wide gene-environmental interaction analysis of exposures to radiation and nitrates as modifiers of the risk for thyroid cancer in the Chernobyl region
河村香寿美・研究機関研究員	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) LLPSから紐解くゲノム欠失のサイズ制御

## 特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
光武範吏・教授	TERTプロモーター変異を検出するプローブセット	2020年3月5日	2024年12月10日	第7602238号
松瀬美智子・助教	TERTプロモーター変異を検出するプローブセット	2020年3月5日	2024年12月10日	第7602238号

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
鈴木啓司・准教授	非常勤講師(生物学・特殊分析検査学)	学校法人九州総合学院 九州医学技術専門学校
鈴木啓司・准教授	非常勤講師(量子線治療科学論)	九州大学大学院医学系学府

### 学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
中路啓太・大学院生	第21回ロシュ若手奨励賞（YIA）	日本甲状腺学会	日本人甲状腺乳頭癌においてTERTプロモーター変異は放射線ヨウ素治療抵抗性と関連する
江藤真美・大学院生	第21回ロシュ若手奨励賞（YIA）	日本甲状腺学会	放射性ヨウ素内用療法不応性甲状腺癌に対する遺伝子解析と生命予後不良例の判断指標の検討